

九州医療センター たより

54 July 2025



基本 理念

病む人に寄り添い、安全かつ最適な医療を提供します



病院長
岩崎 浩己

当院のような大きな総合病院（高度急性期病院）に通院されている患者さんの中には、「ずっとこの病院で診てもらえれば安心」と感じていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。実は、病状が落ち着いたあととずっと大きな病院に通い続けることで、地域全体の医療の効率性が損なわれ、患者さんご自身に不利益が生じてくるという側面もあります。「**かかりつけ医**」を持つていただくようお願いする理由についてお話していきます。

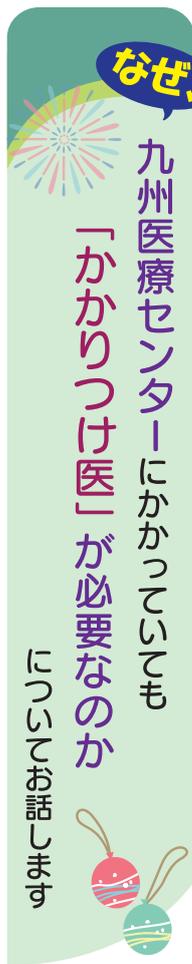
厚生労働省と各自治体は、2040年を見据えた医療提供体制の再構築を進めています。これは「新しい地域医療構想」と呼ばれています。(1)高齢化が進み医療や介護のニーズは今後さらに増えていくこと、(2)少子化で医師や看護師など医療従事者の確保は難しくなること、(3)大きな総合病院に患者さんが集中する現状が続けば、

なぜ、

九州医療センターにかかっても

「かかりつけ医」が必要なのか

についてお話します



本日に急を要する患者さんへの対応が難しくなること、この三つの問題点を踏まえて、「どこで・どのような医療を・どれだけ提供するか」について地域ごとに調整する動きが進められています。そのなかで、医療を提供する病院施設の機能分化と相互連携が重要になってきます。(A)手術などの高度医療や救急医療を担う急性期病院、

(B)日常生活への復帰を目的としたリハビリテーションが中心の回復期病院、(C)長期にわたる療養や介護を担う慢性期病院といった役割分担を明確にして、地域の中で互いに連携を深めることで、持続可能で効率的な医療提供体制を構築しようというものです。この考え方は入院診療だけでなく、外来・在宅診療や医療と介護の連携についても対象となっています。

前置きが長くなりましたが、当院には毎日900人前後の外来患者さんが受診されます。その内、新規にご紹介いただいた初診の方は1割程度で、9割は再診の方々です。再診の中には、外来化学療法や放射線治療など当院でなければ受けられない治療のために通われている患者さんも多くいらっしゃ

います。一方で、病状が比較的安定している毎回同じお薬をお出ししている患者さんも相当数おられますので、このような方にはお近くの「かかりつけ医」での治療継続をお願いしています。当院は(A)手術などの高度医療や救急医療を担う急性期病院ですので、本来の役割を果たすのに必要なマンパワーを確保するためにも、また長い待ち時間のあとの3分診療といった患者さんのためにならない外来診療を避けるためにも、ご理解いただきますようお願いいたします。

私たちは「かかりつけ医」の先生方と顔の見える連携を図っています。患者さんの病状や検査結果・治療内容など大切な情報は、きちんと文書や画像でお送りしています。もし病状の変化があつて、追加の検査や治療の変更が必要と判断されれば、もちろん当院でお引き受けいたします。日常的な健康管理についての相談やきめ細かな生活指導は「かかりつけ医」の先生がお得意な分野で、急性期病院の勤務医では十分に対応しきれない点が多々あります。どうぞ安心して「かかりつけ医」の先生に診ていただく選択をされてください。



带状疱疹に関するお話しとワクチンについて

皮膚科・アレルギー科科長 幸田 太



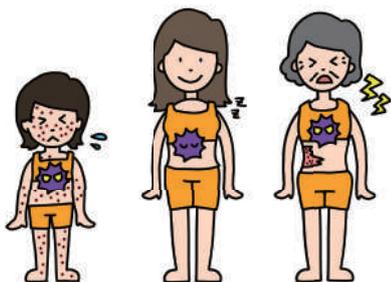
带状疱疹は、水ぼうそうのウイルス（水痘・带状疱疹ウイルス）が再活性化することで起こる病気です。私たちが水ぼうそうのウイルスに一旦感染すると、その後ウイルスは一生体内に潜伏し続けます。そのウイルスが加齢や過労、病気などで免疫力が低下したときに再活性化し、発症するのが带状疱疹です。逆に言えば水ぼうそうにかかったことのない方は、带状疱疹にはなりません。時折「水ぼうそうにはかかったことないのに、带状疱疹になりました！」という患者さんも診察しますが、そんな方は知らない間に感染していたと考えられます。日本では実に約3人に1人が一生のうちに带状疱疹を経験すると言われています。

主な症状は、体の片側に帯状に現れる紅斑、水疱と強い痛みです。発疹が体の正中をこえて左右に生じることがなく、右側か左側のどちらか片側にのみ生じるのが特徴です（図）。痛みは発疹が治った後も「带状疱疹後神経痛」として長く残ることがあり、日常生活に大きな支障をきたす場合もあります。特に高齢者では重症化しやすいため、早期の対策が重要です。

予防には**ワクチン**が有効です。

現在、日本では2種類の带状疱疹ワクチンが使用可能です。ひとつは「**不活化ワクチン（シングリックス）**」で、2回の接種が必要ですが、高い予防効果が長期間持続するとされています。もうひとつは「**生ワクチン**」で、1回の接種で済みますが、不活化ワクチンほどの高い予防効果は期待できません。厚生労働省は、50歳以上の方にワクチン接種を推奨しています。最近では定期接種となり、また一部の自治体では助成制度も始まっており、任意の接種でも費用の負担を軽減することも可能です。かかりつけ医と相談の上、予防接種を検討することが大切です。

带状疱疹は、発症すると激しい痛みで生活の質の低下を招く病気ですが、ワクチンによって予防が可能です。健康な今こそ、将来への備えとして、带状疱疹ワクチンの接種について正しい知識を持ち、行動することが勧められます。



带状疱疹ワクチン

生ワクチン

高い予防効果は
期待できない
1回接種でOK

不活化ワクチン
(シングリックス)

2回接種が必要
長期間持続する
高い予防効果が期待される

階	診療科名	月	火	水	木	金	
1階	総合診療科	岸原 康浩 新患 居原 毅	岸原 康浩 新患 居原 毅	岸原 康浩 新患 居原 毅	岸原 康浩 新患	岸原 康浩 新患 居原 毅	
	代謝内分泌内科	渡邊 哲博 新患 堀内 由布子 新患	阿部 隼希 新患 坂本 昌平	渡邊 哲博 新患 坂本 昌平	堀内 由布子 新患 阿部 隼希	坂本 昌平 新患	
	膠原病内科	石田 素子 新患 高濱 宗一郎	増田 徹 新患 宮村 知也	中村 真隆 新患 吉玉 健人 新患	田中 孝典 新患 石田 素子	増田 徹 新患 中村 真隆 新患	
	血液内科	吉田 周郎 / 岩崎 浩己 中尾 文彦 新患	高瀬 謙 門脇 賢典 新患	中尾 文彦 高嶋 秀一郎 新患	門脇 賢典 吉田 周郎 新患	増田 徹 新患 高瀬 謙 新患	
	移植後フォローアップ外来	担当医師					
	消化器内科	肝	國府島 庸之 / 堀内 敦史 中牟田 誠	上田 哲弘 福泉 公仁隆	國府島 庸之 / 堀内 敦史 中牟田 誠	上田 哲弘 福泉 公仁隆	國府島 庸之 中嶋 摩依 新患
		膵胆	高松 悠	加来 豊馬	麻生 皆人	高松 悠	加来 豊馬
		消化管	吉村 大輔	大久保 彰人	梅北 慎也	吉村 大輔	深浦 啓太
	呼吸器内科	松尾 規和 新患 岡元 昌樹	田中 智大 新患 南野 高志	岡元 昌樹 新患 武岡 宏明	南野 高志 新患 西田 佳子	武岡 宏明 新患 松尾 規和	
	腎臓・高血圧内科	腎臓	中山 勝 春山 直樹		中山 勝 福井 明子 ※8 大田 修 ※8	春山 直樹	
		高血圧	担当医師 新患	富永 光裕	富永 光裕 新患 担当医師 再診	富永 光裕	担当医師
	循環器内科	村里 嘉信 大谷 規彰 目野 恭平	井上 修二郎 ★新患 高瀬 進 ★ 岡部 浩祐 ★	森 隆宏 高橋 甚彌	村里 嘉信 大谷 規彰	井上 修二郎 ★ 眞崎 耕平 ★ 小村 聡一郎	
	ペースメーカー・I.C.D 外来						荒木 将裕 ★
	弁膜症外来 (午後再来のみ)	浦 祐次郎 / 大谷 規彰					
	心臓血管外科	手術日	手術日	神尾 明君 / 米倉 隆介 松尾 彰信	手術日	神尾 明君 ※6 米倉 隆介 ※6 松尾 彰信 ※6	
	血管外科	手術日 ※12	古山 正	手術日	松原 裕 古山 正	岩佐 憲臣	
	脳血管・神経内科	杉森 宏 中西 泰之	杉森 宏 木村 俊介	桑城 貴弘 芝原 友也	芝原 友也 杉森 宏	桑城 貴弘 中西 泰之	
	頭痛外来						
	早期認知外来 (MCI 外来)	杉森 宏					
	脳血管内治療科	徳永 聡 午後					徳永 聡
脳神経外科	手術日	溝口 昌弘 / 西村 中 雨宮 健生	手術日	溝口 昌弘 / 西村 中 雨宮 健生 午後	溝口 昌弘 ※5		
放射線治療科 ※10	大賀 才路						
放射線診断科 ※11	小倉 琢嗣					菊野 亮栄	
整形外科・リウマチ科	福士 純一 / ★小原 伸夫 櫻庭 康司 ★戸次 大史 新患 木村 敦 新患 緒方 亜紀 / 諸岡 郁 井上 光	手術日		福士 純一 / ★小原 伸夫 櫻庭 康司 新患 (第1,3,5) ★戸次 大史 新患 田丸 哲弥 緒方 亜紀 新患 (第2,4) 木村 太一 / 稲富 健	手術日	★小原 伸夫 新患 ★戸次 大史 木村 敦 田丸 哲弥 新患 徳永 修 山手 智志	
	★脊椎担当 がん口コモ外来	戸次 大史					戸次 大史
外科	肝胆膵	手術日	播本 憲史 / 山本 玄樹 野村 頼子 / 武石 一樹	手術日	手術日	播本 憲史 / 武石 一樹 山本 玄	
	CVポート	手術日	当番医師 (午前)		手術日		
	消化管	手術日	池尻 公二 / 坂口 善久 太田 光彦 / 橋元 英次 中西 良太 / 田尻 裕匡 蓮田 博文	楠本 哲也	池尻 公二 / 坂口 善久 太田 光彦 / 橋元 英次 中西 良太 / 田尻 裕匡 蓮田 博文	手術日	
呼吸器外科	手術日	山崎 宏司 初再診 田川 哲三 再診 三浦 奈央子 (※13) 再診	手術日	田川 哲三 初再診 波呂 祥再診	山崎 宏司 初再診 三浦 奈央子 再診 波呂 祥再診		
歯科口腔外科	沖永 耕平 / 吉川 博政 山手 / 中嶋 / 永井 清志 赤瀬 / 長野	沖永 耕平 / 吉川 博政 山手 / 中嶋 / 永井 清志 赤瀬 / 長野	沖永 耕平 / 吉川 博政 山手 / 中嶋 / 永井 清志 赤瀬 / 長野	沖永 耕平 / 吉川 博政 山手 / 中嶋 / 永井 清志 赤瀬 / 長野	当番医師		
産科・婦人科	当番医師 新患 蓮尾 泰之 再診	瓦林 (午前) / 江崎 (午後) 新患 小川 伸二 / 楊之浦 佳奈 森田 葵	藤原 ありさ 新患 大数 友里恵 / 瓦林 靖広 当番医師	小川 伸二 新患 藤原 (午前) / 森下 (午後) 早瀬 千尋 / 黒川 裕介	蓮尾 泰之 新患 当番医師 再診		
眼科	長谷川 英一 / 芳賀 聡 神川 文音 / 山川 良太	手術日		長谷川 英一 / 芳賀 聡 神川 文音 / 山川 良太	手術日	長谷川 英一 / 芳賀 聡 神川 文音 / 山川 良太	
未熟児 (予約のみ)	当番医師 午後						
耳鼻咽喉科	中島 寅彦 / 瓜生 英興 久我 亮介 / 本多 雄飛	瓜生 英興 / 宮城 慎平 篠村 夏織 / 毛利 陽介	久我 亮介 毛利 陽介	中島 寅彦 / 瓜生 英興 久我 亮介 / 篠村 夏織	宮城 慎平 本多 雄飛		
形成外科	森久 陽一郎 新患 新垣 匠	手術日		森久 陽一郎 新患 新垣 匠	手術日		
女性外来 (乳腺外科)	岩熊 伸高 / 岡部 実奈 樋脇 遥 当番医師 (※4) 新患	岩熊 伸高 岡部 実奈 樋脇 遥	手術日		岩熊 伸高 / 岡部 実奈 樋脇 遥 当番医師 (※4) 新患	手術日	
泌尿器科	吉川 正博 / 波止 亮 中野 康弘	手術日		平井 良樹 / 吉川 正博 三好 邦和	手術日	平井 良樹 / 三好 邦和 波止 亮	
小児科 ※7	井形 優平 新患 松下 悠紀	神野 俊介 新患 慶田 裕美 / 佐藤 和夫	神野 俊介 新患 花木 由香	井形 優平 新患 松下 悠紀 / 佐藤 和夫	神野 俊介 新患 慶田 裕美		
小児外科	甲斐 裕樹		手術日 (第2・第4)	甲斐 裕樹	手術日 (第2・第4)		
皮膚科・アレルギー科	幸田 太 / 黄 相允 王 黎亜 / 杉 悠太	手術日		幸田 太 / 黄 相允 王 黎亜 / 杉 悠太	手術日	幸田 太 / 黄 相允 王 黎亜 / 杉 悠太	
精神・神経科	石川 謙介 / 田中 裕記	田中 裕記		石川 謙介	田中 裕記	石川 謙介	
緩和ケア外来 ◎完全予約制 ※1	原田 卓哉						
腫瘍内科 ※2	田村 真吾 初再診 瀧川 彩 再診	田口 綾祐 初再診 西依 慧 初再診	田村 真吾 再診 西依 慧 初再診	田村 真吾 再診 田口 綾祐 初再診	瀧川 彩 初再診 田口 綾祐 再診		
免疫感染症内科 ※3	中嶋 恵理子 当番医師 ※9	南 留美 当番医師 ※9		高濱 宗一郎 午前 中嶋 恵理子 午後 当番医師 ※9	中嶋 恵理子 午前 高濱 宗一郎 当番医師 ※9		

★受付時間は、8時15分から10時30分までですが、紹介状をお持ちの場合は11時30分までとなっております。
★診療時間は、8時30分から17時15分までとなっております。
★休診日は、土日祝日、年末年始においては12月29日から翌年1月3日となっております。(但し急患はこの限りではありません。)
★当院は地域医療支援病院として地域の医療等と連携して治療を行っています。出来るだけ他院からの紹介状をお持ちいただきますようお願いいたします。
紹介状をお持ちでない場合、別途費用をご負担いただくこととなりますので、予めご了承下さい。
また、紹介状をお持ちでない場合、直接ご希望の診療科に受診ができません。総合診療科を受診してから専門診療科受診となります。この場合、専門診療科受診は後日等になる場合があります。
★手術日の外来診察は、原則、急患以外は診察できません。(一部例外を除く)ので、予めご了承下さい。
★緩和ケア外来は、完全予約制となっておりますので、事前に地域医療連携室での予約が必要です。
(※1) 腫瘍内科への初診新患は、原則、午後からの受付となります。
(※2) 免疫感染症科は、特定の感染症のみ対応します。また、木・金曜日は午前と午後の担当医が変わります。ご紹介の際は、事前連絡にて、ご確認ください。
(※3) 乳腺外科の新患受付は、月曜日・木曜日の午前11時からとなります。また、診療開始は午後からです。
(※4) 脳神経外科：金曜日は手術日となる場合がありますので、当日朝に電話で受診可能かご確認ください。
(※5) 小児科のフォローアップ外来は、事前に地域医療連携室での予約が必要です。
(※6) 腎臓・高血圧内科 (腎臓)：水曜日、大田医師は第1.3週目、福井医師は第2.4週目が担当となります。
(※7) 当番医師は消化器内科他、症状等により診察室を移動することがあります。
(※8) 放射線治療科外来は【完全予約制】です。事前に地域医療連携室を介した予約が必要です。
(※9) 放射線診断科外来は【完全予約制】です。事前に地域医療連携室を介した予約が必要です。IVRは院内の診療科からの紹介のみ対応し、他院から当科への直接の紹介は受け付けていません。
(※10) 血管外科：第1月曜日、第3月曜日、第5月曜日は外来診療を行っております。(担当：若佐医師、松原医師)
(※11) 火曜日について三浦医師は12:00より外来診療を行っております。

(令和7年7月1日現在)